

第 130 回医療ビジネス研究会のご案内

人口減少、生産年齢人口減少が顕著になる中、「一億層活躍社会」/2015 年、「障がい者差別解消法」/2016 年、「障がい者の法定雇用率の引上」/2018 年等、障がい者の積極的社会参加気運が高まりつつありますが、それらの実現には課題が山積しているようです。明治維新以降の画一的な人材を輩出しようとしてきた、教育制度、社会体制、社会の空気等、障がい者はもとより、人と違うことを極端に忌み嫌う社会が日本社会の特徴の一つとして現在に至っています。約 150 年続く長年の社会情勢を転換しようとしても、一朝一夕には事は運ばないようです。

社会参加を希望する障がい者と、障がい者を雇用しようとする事業者が存在するにも拘らず、笛ふけど踊らぬ状況に接する機会が多かったことと、障がい者の就労支援に関わるメンバーが集まってきたことから、医療事業再生機構では本年より障がい者就労支援委員会を発足し、微力ではありますが障がい者雇用に関する情報を収集し、養護学校、福祉施設、医療機関、社会福祉法人等との連携を強化し、雇用主への啓発活動から、障がい者の生活支援まで、障がいを持たれた方も生涯に渡り適所を見つけられる社会を目指し活動しております。

今回は大阪を中心に、700 名以上の障がい者の就労を支援されてこられた、(株)アソウ・ヒューマニーセンターの二見氏(障がい者の就労支援、キャリア形成が専門)よりお話を伺います。同氏が務める研修・セミナーは、主に以下の 3 分野です。

- ① 企業向けの研修(経営層、人事、受け入れ現場の方々を対象):初めての障がい者雇用、職場定着・採用の勘所、精神障がい者雇用など。
- ② 障がい者向けの研修:就労経験のない方、就職活動中の方など、ステップに分けて実施。
- ③ 就労支援者、カウンセラー等、専門職向けの研修:支援のポイント、事例を踏まえたグループワーク、支援者自身のキャリア形成など。

また、同氏の支援対象は障がい者はもとより生活保護受給者、ひとり親、中高年齢者、若年者等の生活並びに就労困難者と、難易度の高い分野を担当されています。

障がい者雇用の大都市集中、限られた障がいへの求人集中等、障がい者の採用現場におきましても課題が山積しておりますが、職を求める方、求人をされている企業、就労を支援する方等、関係者が課題解決のキーポイントを共有することは、円滑な障がい者の就労には不可欠です。本件は障がい者を雇用する事業者、その就労支援者はもとより、企業経営者、採用担当者にとっても一般教養となりつつある分野です。また、障がい者雇用率未達企業や関連分野で課題を抱えている事業者にも、是非ともお聞き頂きたい内容です。奮ってご参加頂くようご案内申し上げます。

2018 年 7 月

特定非営利活動法人 医療事業再生機構

記

- テーマ:「今後の障がい者雇用に求められるポイント」
- 講師:二見武志 氏 (株)アソウ・ヒューマニーセンター
産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、CDA(キャリアカウンセラー資格)
- 開催日時:2018 年 7 月 23 日(月曜日)18:30~20:30

以上

※ 医療ビジネス研究会の参加には受講票が必要です。

参加を希望される方はお手数ですがホームページよりお申込ください。